

10月28日

個別報告スケジュール

		第1会場(212教室)	第2会場(216教室)
1	9:00-9:20	北海道のサケマスふか放流事業を支える条件 -北見管内の増殖事業を事例に-  山尾政博(広島大学)、 天野通子(農林水産政策研究所)	卸売市場制度の改革と「卸・仲卸二段階制」の揺らぎ -卸による垣根乗り越えとその経営的動機に注目して-  山本尚俊(長崎大学)
2	9:20-9:40	北海道オホーツクのサケ加工業のフードシステム -フードチェーン・アプローチからの分析-  天野通子(農林水産政策研究所)、 山尾政博(広島大学)	Disease Management of White Leg Shrimp (Litopenaeus vannamei) Intensive Farming in Vietnam : A Case Study of the Soc Trang and Ben Tre Provinces  NGUYEN THI KIM QUYEN (The United Graduate School of Agriculture Sciences, Kagoshima University), SANO Masaaki, KUGA Mizuho (Kagoshima University)
3	9:40-10:00	日本におけるサーモン養殖展開の機序とその特徴  佐野雅昭(鹿児島大学)	A CASE STUDY ON THE EFFECTIVENESS OF THE FISHERIES MANAGEMENT SYSTEM ON SEA CUCUMBER AT WAIQANAKE VILLAGE IN CENTRAL FIJI  Apimeleki Cokanasiga (The United Graduate School of Agriculture Sciences, Kagoshima University), Takashi Torii (Kagoshima University)
	(調整)		
4	10:10-10:30	サケ・サーモンに関する国内外の消費傾向の変化  山下東子(大東文化大学)	ザンジバルのダガー産業に対する行政の管理体制の整備 :インフォーマルセクターからフォーマルセクターへ  藤本麻里子 (京都大学アフリカ地域研究資料センター)
5	10:30-10:50	流通の歴史の変遷から見る三陸サケの社会的機能  吉村健司(東京大学大気海洋研究所)、 青山潤(同)	小規模金探掘地域における漁民の生態知と環境ガバナンス フィリピン・ビコール地方の湾域を事例として  池口明子(横浜国立大学)
6	10:50-11:10	飛騨地域におけるブリ・サケの消費と年取魚ブリへの認識  林紀代美(金沢大学)	漁業管理の目的と数量管理の諸手法 -カナダ大西洋岸の事例から-  東村玲子(福井県立大学)
	(調整)		
7	11:20-11:40	地域中小企業のネットワーク組織の可能性 -鹿児島県枕崎市の鯉節産業を例に-  馬場 武(鹿児島大学)、萩野 誠(同)	里海の現状と課題  鹿熊信一郎(沖縄県海洋深層水研究所)
8	11:40-12:00	CoC認証とトレーサビリティにおけるブロックチェーン導入 の意義・有用性と課題 ~水産の流通管理記録と追跡可能性の実質化に向けて~  小川健(専修大学)	戦後の水産高等教育プログラムの発展と水産業の関わり  鬼頭景子(鹿児島大学大学院連合農学研究科)、 佐野雅昭(鹿児島大学)、久賀みず保(同)
9	12:00-12:20	20世紀前期の中国「関東州」水産業の形成  PENG WEI(鳥取大学大学院連合農学研究科)、 伊藤 康宏(島根大学)	徳島県シラス漁業・加工業の協業化に向けた課題と展望  原田幸子(三重大学)、松井隆宏(同)、 中原尚知(東京海洋大学)、三宅和彦(愛媛大学)、 笠井雅也(株式会社アクシス)
10	12:20-12:40	安政期北浦地域における鯨組編成の変化とその背景  末田智樹(中部大学)	協業化に対する漁業者意識 -徳島県のシラス漁業を事例に-  松井隆宏(三重大学)、原田幸子(同)、 中原尚知(東京海洋大学)、三宅和彦(愛媛大学)、 竹ノ内徳人(同)